



鳥取県土木工事監督マニュアルの一部改正について（通知）（その2）

技術基準の種類:技術管理
通知日:平成15年 3 月25日

第 1 編 共通編

第 1 章 総則

第 1 節 総則

1-1-1-41 : 工事測量

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
工事着手前	1-1-1-41	・ 測量結果	・ 測量結果を測量成果品と対比して現地で確認する。 必須測定項目：測量標（仮BM） 任意測定項目：測量標（基準点）工事中多角点の設置、 用地境界線、中心線、縦断、横断等	段階確認書	確認	1回/1工事	

第 3 章 一般施工

第 3 節 共通の工種

1-3-3-3 : 作業土工（床掘、埋戻） …… （重要構造物）

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
土（岩）質の変化した時	1-3-3-3	・ 土（岩）質変化位置	・ 監督員は土及び岩の契約分類毎に地質境界を確認する。	段階確認書	確認	1回/土（岩）質の変化毎	
床掘掘削完了時		・ 支持地盤（直接基礎）	・ 監督員は床掘完了時に、掘削深さ（基準高）を測量し、支持地盤の適否を柱状図等の設計図書と照合して確認する。また、必要に応じて平板載荷試験等（試験費用は別途計上）の試験結果で確認する。	段階確認書	確認	1回/1構造物	
埋戻し前（本マニュアル未掲載の構造物に適用）		・ 設計図書と対比（不可視部分の出来形）	・ 構造物の不可視部分について、埋戻し前に設計図書（座標位置、基準高、寸法のうち監督員の指示する箇所）と現地で対比し規格値以内であるか確認する。	段階確認書	確認	1回/1構造物	

1-3-3-4 : 矢板工（鋼矢板） 仮設を除く

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
打込時	1-3-3-4	・ 使用材料、長さ、溶接部の適否	・ 材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。 ・ 打設前に板長を測定し、打設長（根入れ長）を算出し設計根入れ長と比較する。 継手溶接部の適否について目視 浸透探傷試験（JIS Z 2343）、放射線透過試験（JIS Z 3104）又は超音波探傷試験（JIS Z 3060）により確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/150枚 重点：1回/100枚	溶接部の試験方法は特記仕様書に示された方法による。
打込完了時		基準高、変位	・ 基準高、変位が規格値以内であるか確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/150枚 重点：1回/100枚	

第 4 節 基礎工

1-3-4-3 : 法留基礎工

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
設置完了時	1-3-4-3	・ 設計図書との対比（不可視部分の出来形）	・ 不可視部分について埋戻し前に設計図書と現地で対比し規格値以内であるか確認する。 必須測定項目：基準高、幅、高さ、延長 任意測定項目：その他図面の寸法表示箇所	段階確認書	確認	1回/1工事	

1-3-4-4 : 既製杭工（既製コンクリート杭、鋼管杭、H 鋼杭）

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
打込時	1-3-4-4	・使用材料、長さ、溶接部の適否、杭の支持力	・材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。 ・打設前に杭長を測定し、打設後、杭天端高、切断部の長さを測定し、杭長、打設長（根入れ長）を算出し設計根入れ長と比較し確認する。 継手溶接部の適否について目視 浸透探傷試験（JIS Z 2343）、放射線透過試験（JIS Z 3104）又は超音波探傷試験（JIS Z 3060）により確認する。 ・貫入状況、打ち止まり状況等から支持層を確認するとともに、支持力を算定し設計支持力と比較し確認する。 ・基準高、変位が規格値以内であるか確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/10本 重点：1回/5本	溶接部の試験方法は特記仕様書に示された方法による。
打込完了時（打込杭）		・基準高、偏心量	・基準高、変位が規格値以内であるか確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/10本 重点：1回/5本	ただし、1回/1構造物以上とする。
掘削完了（中掘杭）		・掘削長さ、杭の先端土質	・掘削土により地層・地質及び杭先端支持地盤を、ボーリング柱状図等と比較し確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/10本 重点：1回/5本	ただし、1回/1構造物以上とする。
施工完了時（打込杭）		・基準高、偏心量	・基準高、偏心量が規格値以内であるか確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/10本 重点：1回/5本	ただし、1回/1構造物以上とする。
杭頭処理完了時		・杭頭処理状況	・鋼管杭、H 鋼杭 鉄筋溶接の適否、杭頭切断の処理について施工状況を確認する。 ・コンクリート杭 杭を切断した場合の補強方法、中詰補強の配金等の杭頭処理状況を確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/10本 重点：1回/5本	ただし、1回/1構造物以上とする。

1-3-4-5 : 場所打杭工（リバス杭、オルケーシング杭、テストピル杭、大口径杭）

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
掘削完了時	1-3-4-5	・掘削、長さ支持地盤	・杭の掘削完了時、掘削土により地層・地質及び杭先端支持地盤を、ボーリング柱状図等と比較し確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/10本 重点：1回/5本	
鉄筋組立て完了時		・使用材料、設計図書との対比	・材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。 ・鉄筋の径、長さ、本数、間隔、継手方法（継手長結束状況）及びかぶりについて確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/10本 重点：1回/5本 1-5-5-3 参照のこと	
コンクリート打設時		・品質規格、運搬時間、打設順序、天候気温	・コンクリートの品質規格、運搬時間、打設順序、打設時の天候及び気温等について把握する。		把握	一般：1回/10本 重点：1回/5本	
施工完了時		・基準高、偏心量、杭径	・基準高、偏心量、杭径が規格値以内であるか確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/10本 重点：1回/5本	ただし、1回/1構造物以上とする。
杭頭処理完了時		・杭頭処理状況	・杭頭部コンクリートの品質及び仕上げの状況、帯鉄筋の径、本数、間隔及び定着長について確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/10本 重点：1回/5本	

1-3-4-6 : 深礎工

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
土（岩）質の変化した時	1-3-4-6	・土（岩）質変化位置	・監督員は土及び岩の契約分類毎に、ボーリング柱状図等と比較し、地質境界線を確認する。	段階確認書	確認	1回/土（岩）質の変化毎	
掘削完了時		・長さ、支持地盤	・杭の掘削完了時、掘削土により地層・地質及び杭先端支持地盤を、ボーリング柱状図等と比較して確認する。 ・杭の長さを現地で確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/3本 重点：全数	ただし、1回/1構造物以上とする。
鉄筋組立完了時		・使用材料、設計図書との対比	・材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。 ・鉄筋の径、長さ、本数、間隔、継手方法（継手長結束状況）及びかぶりについて現地で確認する。	段階確認書	確認	1回/1本 1-5-5-3 参照のこと	
施工完了時		・基準高、偏心量、径	・基準高、偏心量、径が規格値以内であるか確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/3本 重点：全数	ただし、1回/1構造物以上とする。
グラウト注入時		・使用材料、使用量	・注入材料の配合及び記録計等により使用量を確認する。 ・材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する	段階確認書	確認	一般：1回/3本 重点：全数	ただし、1回/1構造物以上とする。

第6節 一般舗装工

1-3-6-5 : アスファルト舗装

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
舗装前	1-3-6-5	・使用材料	・材料試験結果により材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用するか把握する。		把握	1回/1工事	
舗装時		・敷均し、締固め状況、天候、気温舗設温度等	・下層、上層路盤（粒調路盤） 路盤材料の品質及び仕様書に定められた敷き均し、締固めが、行われているか把握する。 ・下層、上層路盤（セメント及び石炭安定処理） 使用材料の品質、1層の仕上がり厚さ、セメント及び石炭量、一軸圧縮試験結果等について把握する。 ・アスファルト安定処理、基層、表層 プライムコート、タックコートの施工状況、混合物の舗設温度、天候、敷均し、締め固め状況について把握する。 ・上層路盤、基層、表層工において、自社施工が行われているか登録職員等について現地で確認する。		把握	一般：1回/1工事 重点：1回/3000㎡	
		・自社施工の確認			確認	一般：1回/1工事 重点：2回以上/1工事	ほ装単独工事

1-3-6-6 : コンクリート舗装工

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
舗装前	1-3-6-6	・使用材料	・材料試験結果により材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか把握する。		把握	1回/1工事	
舗設時		・敷均し、締固め状況、天候、気温舗設温度等	・下層、上層路盤（粒調路盤） 路盤材料の品質及び仕様書に定められた敷き均し、締固めが、行われているか把握する。 ・下層、上層路盤（セメント及び石炭安定処理） 使用材料の品質、1層の仕上がり厚さ、セメント及び石炭量、一軸圧縮試験結果について把握する。 ・アスファルト安定処理、基層、表層 プライムコート、タックコートの施工状況、混合物の舗設温度、天候、敷均し、締め固め状況について把握する ・コンクリート舗装 目地金物、鉄網の設置及び敷均し、締め固め状況について把握する。		把握	一般：1回/1工事 重点：1回/3000㎡	

第7節 地盤改良工

1-3-7-2 : 路床安定処理工

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
処理完了時	1-3-7-2	・使用材料、基準高幅延長、施工厚	・幅、施工厚さ及び長さを確認する。 ・伝票などにより処理材料の使用量を確認し、設計数量と比較する。	段階確認書	確認	一般：1回/1構造物 重点：1回/120m	

1-3-7-3 : 置換工

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
置換前	1-3-7-3	使用材料	・材料試験における土の突固め試験（道路の場合はC B R試験も）結果表により材料の確認を行う。	段階確認書	確認	1回/1工事	
施工時		使用材料	・使用材料は品質、形状、寸法、使用法を目視で確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/1構造物 重点：1回/120m	
施工後		幅、延長、置換厚さ支持地盤	・厚さ、幅、延長及び地盤支持力を測量や目視、必要により平板載荷試験により確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/1構造物 重点：1回/120m	

∞ 1-3-7-4 : 表層安定処理工（表層混合処理） 1－3－7－2に同じ

1-3-7-4 : 表層安定処理工（置換）

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
掘削完了時	1-3-7-4	使用材料 幅、延長施工厚さ	・使用材料は品質、形状、寸法、使用法を目視で確認する。 ・幅、長さ、及び置換厚さについて規格値以内であるか確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/1工事 重点：1回/120m	

1-3-7-6 : サンドマット工 1－3－7－4（置換）に同じ

1-3-7-7： バーチカルドレーン工（サトドレーン、袋詰式サトドレーン、ペーパードレーン）

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
施工時	1-3-7-7	・使用材料、打込長さ	・使用材料は品質（特に粒度）及び長さについて確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/200本 重点：1回/100本	ただし、1回／1構造物以上とする。
施工完了時		・基準高、施工位置	・基準高、設置間隔が規格値以内であるか確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/200本 重点：1回/100本	ただし、1回／1構造物以上とする。

1-3-7-8： 締固め改良工（サトコンパクションパイル）

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
施工時	1-3-7-8	・使用材料、打込長さ	・砂杭の施工管理記録により砂杭の打込長さを確認する。 ・材料確認（品質・規格）を受けた材料を適切に使用しているか確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/200本 重点：1回/100本	ただし、1回／1構造物以上とする。
施工完了時		・基準高、施工位置、杭径	・砂杭の基準高、設置間隔、杭径が規格値以内か 確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/200本 重点：1回/100本	ただし、1回／1構造物以上とする。

1-3-7-9： 固結工（粒体噴射攪拌、高圧噴射攪拌、セメント噴射攪拌、生石灰パイル）

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
施工前	1-3-7-9	・使用材料	・攪拌及び注入する材料について、配合試験と一軸圧縮試験の結果により目標強度に達しているか確認する。	段階確認書	確認	1回/1工事	ただし、1回／1構造物以上とする。
施工時		・深度	・施工管理記録により杭の打込長さを確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/200本 重点：1回/100本	
施工完了時		・基準高、施工位置、杭径	・杭の基準高、位置・間隔、杭径が規格値以 内か確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/200本 重点：1回/100本	

1-3-7-9： 固結工（薬液注入）

施工段階	仕様書との関係	内 容		提出書類	監 督		備 考
		項 目	留 意 事 項		方法	頻 度	
施工前	1-3-7-9	・使用材料	・攪拌及び注入する材料について、配合試験と一軸圧縮試験の結果により目標強度に達しているか確認する。	段階確認書	確認	1回/1工事	ただし、1回／1構造物以上とする。
施工時		・深度、注入量	注入量を確認するとともに、薬液の保管、注入作業管理、排水等の処理、周辺の地下水・地盤の状況の測定・監視をしながら施工しているかを確認する。	段階確認書	確認	一般：1回/20本 重点：1回/10本	